

Weekly Report

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rcj.jp

URL: http://www.mizuho-rcj.jp/

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日

幹 長：亀井 直人

事 長：鳥山 政明

クラブ委員長：杉山 裕一

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2025-26年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しもう!」

2025-26年度
国際ロータリーのテーマ
よいことのために手をとりあおう

第2145回例会

～基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2025年9月25日(木) 晴 第9回

司 会：加藤直大 会場委員
斉 唱：「日も風も星も」
ゲ ス ト：米山奨学生 Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん

会長挨拶

亀井直人会長

皆さん、こんにちは。日本に住む外国人が家族や知人の埋葬を巡り不安を募らせているそうです。日本では火葬がほとんどですが、土葬が必要な宗教を信仰する人たちの間で墓地確保の難しさが増しているからです。背景には在留外国人にも迫る高齢化の波があります。



土葬は日本でも認められています。死亡届を役所に提出する際、埋葬予定地を伝えて許可が得られれば可能だそうです。しかし土葬を受け入れる墓地は極端に少ないという事です。理由は広い土地が必要なことや環境面での事情、住民との折り合いの難しさなどがあります。外国人との共生や多様化が進む日本社会も外国人のくらしの細かな部分に目を向ける時代に入ってきたようです。

ちなみに現在土葬が可能な墓地のある主な地域は、北海道余市町、茨城県茨城町、茨城県常総市、埼玉県本庄市、山梨県甲州市、静岡県静岡市、京都府南山城町、和歌山県橋本市、広島県三原市などだそうです。

日本国内でも半世紀ほど前までは各地で土葬が行われ、火葬が主流となってきた歴史は古くありません。1913年(大正2年)には31%だった火葬が1934年(昭和9年)に51%に達し、初めて土葬との割合を逆転しました。

世界の火葬の状況を見ると、各国の公的機関や民間団体などがまとめた2023年時点の火葬率は、ノルウェー49%、米国61%、カナダ75%、シンガポール81%、韓国93%で99.99%の日本の火葬率の高さが際立っています。

火葬といえば令和7年4月から令和10年5月まで八事斎場が再整備を行い、令和10年6月から新しい八事斎場の供用開始を予定されています。それまでは名古屋市港区茶屋にある第二斎場で対応するという事です。2か所に対応していたものを1か所に対応するために第二斎場の一日1炉あたりの火葬件数を2件から3件に増やし、稼働日を334日(元旦および友引日の半日を休場)から364日(元旦のみ休場)に増やして対応するそうです。

火葬待ちは避けたいと思います。聞いたところによりますと第二斎場には一か所希望があれば叩戸の仕切りを外し同時に火葬してもらえらる炉があるそうです。一緒に火葬してもらおう状況はなかなかイメージが湧きませんがさみしがりの方にはいいかもしれません。

いろいろ話してきましたが亡くなった本人は知らぬが仏？ではないですが残された家族は大変のようです。長生きしましょう。

出席報告

広瀬弘幸 出席委員

会員69名 出席45名 (出席計算人数58名)

出席率 71.43%

ニコボックス

広瀬弘幸 ニコボックス委員

- ・ 本日は野球部の紅白戦です。思いっきり楽しみましょう。荻野君ありがとう!
鈴木 淑久さん
- ・ 妻の誕生日に美しいお花ありがとうございました。
長瀬憲八郎さん
- ・ 今日17:30より瑞穂野球場で我がロータリークラブ野球部の初めての紅白試合を行います。日頃の成果を見て頂けると嬉しいです。
松波 恒彦さん
- ・ 神谷そらちゃん優勝おめでとう!! 渡辺さんおめでとうございませす。
森 裕之さん
- ・ 堀さん、先日はボトルありがとうございました。ごちそうさまでした。
田中 宏さん
- ・ 支援している加藤金次郎選手が、今日からプロゴルファーとして戦い始めました。
本多 誠之さん
- ・ 今日の紅白戦頑張ります。
杉山 裕一さん
- ・ 5巡目ですが野球頑張ります。
花井芳太郎さん
- ・ ミノリさん卓話頑張ってください。
杉江 建亮さん 新見 光治さん 大和 直樹さん 渡邊 将之さん

幹事報告

鳥山政明幹事

- ・ 10/2(木) 例会12:30～ ヒルトン4F「桜の間」
推薦委員会 13:40～ヒルトン4F「美杉(みすぎ)の間」
- ・ 10/9(木) ガバナー補佐訪問 ヒルトン名古屋4F「竹の間」12:30～
補佐との懇談会11:30～ 4F「梅の間」、
第4回理事会・第2回CA 4F「桜の間」13:40～

奨学金授与

Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん



第29回米山学友会(愛知)総会



2025.9.24(水)第29回米山学友会(愛知)総会に、会長・幹事・米山委員長・カウンセラー・指導教員と共に米山奨学生 ミノリさんも参加しました。

委員会・同好会報告

野球部



2025年9月25日(木) 17:45よりバロマ瑞穂野球場にて野球同好会による交流試合が開催されました。熱戦の末仲良く引き分けで幕を閉じました。とても盛り上がった試合で観戦者も盛り上がっていました。

卓話

米山奨学生 Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん

みなさん、こんにちは。私はヘッチアラッチ ミノリラベージャ、と申します。皆からは、ミノリと呼ばれています。

まず、始めに、米山奨学生として受け入れて頂きました瑞穂ロータリーの皆様に感謝致します。

私はスリランカ出身で現在27歳です。家族は父と母、そして弟の4人家族です。父は岐阜県で料理人として働き、母と弟はスリランカにいます。

現在、名古屋経済大学の法学部ビジネス法学科に在学し、法律を学んでいます。また、学業と並行して飲食店でアルバイトをしており、日本の接客や働き方についても学んでいます。そして、今は日本での就職活動を頑張っています。

今日は、私の母国スリランカについて紹介したいと思います。スリランカはインドのすぐ南に位置する島国です。面積は約65,610平方キロメートルで、北海道のおよそ0.8倍ほどの大きさです。人口は約2,200万人で、言語はシンハラ語、タミル語、そして英語が使われています。宗教は仏教が約70%を占め、その他にヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教も信仰されています。このように、多様な文化や宗教が共存しているのがスリランカの特徴です。

歴史についても少し触れます。紀元前5世紀ごろからシンハラ王朝が建国され、長い歴史を持っています。中世には仏教文化が大きく発展しました。16世紀から18世紀にかけては、ポルトガル、オランダ、イギリスによる支配が続きました。そして1948年にイギリスから独立し、セイロンという国が誕生し、1972年現在のスリランカという国名に変わりました。

スリランカといえば、やはり世界的に有名なのが「セイロンティー」です。紅茶の生産は19世紀に始まり、今ではスリランカを代表する産業になっています。高い標高で育てられるため香りがよく、味わいも豊かです。実は、日本でよく見かける「午後の紅茶」にもスリランカ産の茶葉が使われています。日本でこの紅茶を見るたびに、母国を少し身近に感じることが出来ます。

次に、スリランカの代表的料理を紹介します。まず「ミルクライス」です。ココナッツミルクで炊いたご飯で、特別な日やお祝いの時に食べられる伝統料理です。「カレーライス」も有名です。スリランカのカレーは日本のカレーと違い、スパイスをたっぷり使い、魚や野菜、豆などさまざまな食材で作られます。とても香り豊かでご飯によく合います。「コロッケ」も人気があります。日本のコロッケに似ていますが、スパイスを効かせた食材を使うため、少しピリッとした味が特徴です。

お菓子はお祭りやお正月などのお祝いの時に、家族や友人と分け合って食べます。スリランカにはココナッツや黒糖を使った甘いお菓

子が多く、人々にとって大切な伝統の一部になっています。名古屋にもスリランカ料理のお店はありますので、興味のある方はご紹介致します。

次に、産業についてです。スリランカの主要な産業は農業です。特に有名なのは紅茶で、世界中に輸出されています。そのほかにも、ゴム、ココナッツ、そして米作が盛んです。近年では観光業も大きな役割を担っています。スリランカには観光地も素晴らしい所があります。

1つ目は「シーギリヤロック」です。巨大な岩の上に建てられた王宮跡で、「空中の宮殿」とも呼ばれています。壁画や庭園が残っていて、世界遺産にも登録されています。2つ目は「ダラダ・マリーガーフ(仏歯寺)」です。キャンディという街にある仏教の聖地で、仏陀の歯が納められている寺院です。毎年多くの巡礼者や観光客が訪れる、とても神聖な場所です。

3つ目は「ナインアーチブリッジ」です。緑の森に囲まれた美しい鉄道橋で、9つのアーチを持つことからこの名前がつけました。電車が橋を渡る光景は特に人気で、写真スポットとして有名です。

ここからは、私自身について少しお話させていただきます。日本に来たのは、父の勧めがきっかけで、日本の大学に進学したいという目標を持ち、留学先として日本を選んだからです。

初めて日本に来たときは寒さが厳しく、「もう二度と来ない」と思いました。しかし、その後、旅行などで三回も日本を訪れ、日本の魅力を少しずつ感じるようになりました。今では日本で学べることを本当に嬉しく思っています。

最初、日本に来て一番困ったことは、やはり、日本語でのコミュニケーションでした。言葉の壁は大きな課題で、例えば、勉強した文法と違い日常生活で使う言葉が、違って困りました。映画やドラマ、アニメから日常的な会話を学びました。また、日本に来て驚いたことが3つあります。

まず、寿司のおいしさに驚きました。特に、マグロが大好きです。そして、お年寄りの方々が元気に働いていることにも感心しました。スリランカでは、公務員は年金がありますが、多くのお年寄りは退職金や家族に頼って生活します。ですので、日本のお年寄りの方々が働く姿はとても尊敬致します。

公共交通機関がとても安全で便利であることにも驚きました。日本では当たり前な時間通りに電車が来ることも、スリランカでは1時間、2時間遅れてくることが当たり前だからです。

最後に、私の夢についてです。将来は、自分のカフェを開くことが夢です。スリランカの料理や紅茶を提供できる、温かく心地よい場所を作りたいと考えています。あっという間に、半年間が過ぎましたが、例会参加時には、多くの方々とコミュニケーション取りたいと思いますので、引き続きよろしくお願致します。

本日はこのような機会を頂き、ありがとうございました。

例会のご案内

- 今 週 10月2日(木)
インニエーションスピーチ：名古屋瑞穂RC会員 荻野 達朗さん
場 所：ヒルトン名古屋 4F 「桜の間」
時 間：12:30~13:30
- 次 週 10月9日(木) ガバナー補佐訪問
場 所：ヒルトン名古屋 4F 「竹の間」
時 間：12:30~13:30
- 次々週 10月16日(木)
卓話者：白鳥山法持寺副住職
愛知学院大学非常勤講師 川口高裕様
場 所：ヒルトン名古屋 28F 「ワン・オー・ファイブ」
時 間：12:30~13:30